



長野県建築士会

佐久支部



佐久の札所

第5番札所 長泉寺

北佐久郡御代田町馬瀬口

柵口神社のすぐ隣、旧北国街道沿いにある。かつては春彼岸の中日に寺に伝わる踊り念仏が行われたほか、5月には観音まつりが開かれ佐久地方の馬方や農家の人々で賑わっていたといわれている。



もくじ

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
建築士会全国大会優勝	4~5
建築士フォーラム2017	5
事業中間報告	6~7
ウッドクラフト2017	8
既存住宅状況調査講習	9
賛助会員の紹介	9~10
長野県からのお知らせ	11
事務局より	12

新年のご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 臼田 幸夫



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の支部協議会において支部長に就任して以来、今日まで正に「あっ！」という間に過ぎました。各委員会の委員長、幹事の皆様のご協力そして会員並びに賛助会員の皆様のご支援とご理解によりましてここまで会の事業、運営が出来ましたことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に京都で開催されました第60回建築士会全国大会の青年委員会セッション地域実践活動発表において当支部の青年女性委員会の活動「風穴のある場所の価値」が見事に最優秀賞を授賞致しました。この授賞により平成25年の島根大会、平成27年の金沢大会に続き出場大会3連覇という偉業を達成しました。賞を取ることが目標ではありませんでしたが、結果として会員の皆様にとっても誇れる出来事であったと思います。

今回の活動の一つの大きな特徴は地域の皆さんに当支部の若い建築士の熱い想いが伝わりその歴史的価値を再認識し共に保存活動に立ち上がったこと、更に行政を動かし全国風穴サミット開催に繋がったことだと思います。

これこそ、社会・地域に対する貢献活動で、

私の目指す建築士の姿であり、更に専門知識を持つ職能集団としての建築士会の指名であると思います。

佐久支部の強みは他支部には見られない青年層の厚さです。若い皆さんの力を存分に発揮する環境を作るのは我々役員に与えられた役割であり、会員増強のためにも今後とも青年女性委員会の活動を大いに期待しそのために様々な支援をしていくつもりです。

長野県建築士会においては来年度中に公益社団法人への移行を目指していて、今後様々な動きが出てくると思われ、本会そして支部にとり岐路の年となるでしょう。北佐久支部と南佐久支部が合併して以来諸先輩方が積み重ねてきた佐久支部の団結力と結束力を今こそ発揮し、困難な事態も乗り越えてゆかねばなりません。私は佐久支部にとって何が最良なのかを考え微力ではありますが尽力する所存です。会員の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

2月9日(金)午後4時より元NHKアナウンサーで軽井沢町立図書館館主の青木裕子さんにより「朗読の森の夢・プロジェクト」が佐久グランドホテルにて開催されます。

友人知人をお誘い合わせの上、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

結びに、平成の世もあと1年余りとなり今年には平成という時代を振り返る報道が多くなると思います。佐久支部の歴史は平成の歴史と重なり、30年の節目を迎える年となります。今年が支部にとって最良の年となりますように又、会員各位のご健康とご多幸と益々のご繁栄をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

長野県佐久建設事務所

建築課長 塚田 昌宏



あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃から県の建築・住宅行政にお寄せいた

だいております御支援、ご協力に対し、心より感謝申し上げます。昨年は建築士会全国大会において、佐久支部青年女性委員会の活動が最優秀賞を受賞されましたこと、まことにおめでとうございます。

さて、昨年4月の県の現地機関の見直しにより、地方事務所は地域振興局に、そして建築課は建設事務所に移管となり、9ヶ月が経過いたしました。建設・建築両部門が一体となり、地域づくり、まちづくりに取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。

今年は県にとって新たな時代に向けた節目の年となります。4月からは、次期総合5か年計画がスタートとなり「確かな暮らしが営まれる美しい信州～学びと自治の力で拓く新時代～」を基本目標に、6つの政策推進の基本方針のもとに施策を展開することとしています。方針の一つである「人をひきつける快適な県づくり」では、豊か

な自然や文化が身近な長野県での暮らしの価値を高め発信し、人口定着に資するため、移住・二地域居住に取り組んでまいりたいと考えています。これを進める上で必要となる空き家対策では、一昨年の5月に地域連絡会を設置し、建築士会佐久支部をはじめとし、関係団体や市町村の皆様と共に地域の課題解決に向けた取り組みを行っているところです。空き家対策に限らず、皆様方には建築の専門家としての助言、応急危険度判定をはじめとする安全・安心への取り組みなど、引き続きご協力をよろしく願います。

結びに、会員皆様の御健康と御多幸を心より御祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



建築士会全国大会 地域実践活動「最優秀賞」



12月8日に第60回建築士会全国大会京都大会が行われ、青年委員会セッション「地域実践活動報告」において、関東甲信越ブロック代表として佐久支部青年女性委員会が、小諸市氷地区の活動『風穴のある場所の価値』を発表し、最優秀賞を受賞しました。

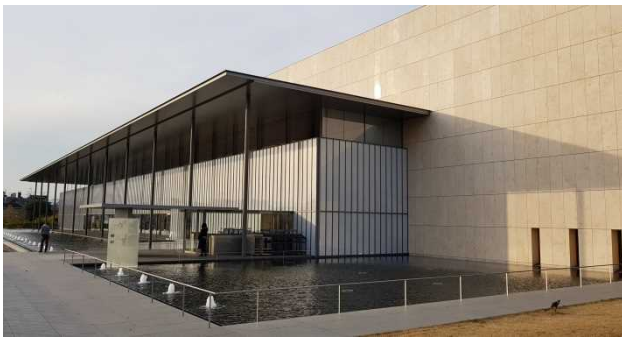
小諸市の風穴群は江戸時代中期から氷や漬物の保存に利用され、明治時代に養蚕業の発展とともに蚕種の貯蔵量は全国最大規模を誇っていたそうです。現在では衰退してしまった風穴群の価値をもう一度見直して、地域住民と協力し



ながら、風穴群の保存や駐車場の整備清掃、PR活動を行っていることが評価されたのでしょうか。



今回のバス旅行は三団体合同研修旅行を兼ねて34名が参加して、改修されて極彩色が蘇った平等院鳳凰堂・鳳翔館、京都国立博物館の明治古都館（片山東熊氏設計）・平成知新館（谷口吉生氏設計）、虎屋京都店（内藤廣氏設計）などを見学しました。



夕食後の空き時間には、二条城のアートアクアリウムで金魚と花魁の舞を楽しんだり、祇園のまち並みを散策して京都を満喫することができました。



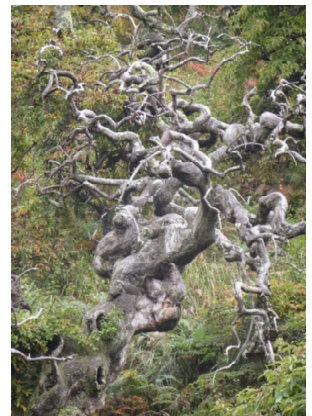
建築士フォーラム2017 in 中央アルプスに参加して

佐野孝太郎

「伊奈谷の景観」基調講演をしていただいた講師山岳写真家 津野祐次氏の風景写真講座に参加しました。当日の天候具合によって当初計画していた陣場形山ではなく辰野町にある国の天然記念物に指定された「蛇石」と「しだれ栗」を撮影の対象にしました。現地に到着後、はじめに講師のレクチャーを聴講して、最良の撮影場所や撮影方法等を指導していただきながら自由に撮影を行いました。これらの対象の撮



影には、曇りの空模様のような天空から届くやわらかな光が拡散されている天候の方が適していたので絶好の撮影日和だったようです。帰りのバスのなかで、講師の津野先生が参加者からの「写真を表現すること」につい



での質問に対して、「何を見つめて、何を表現するのか」また、「どこに感動するのか」という視点から真摯に答えられていたことに感銘を受けました。また、私がそのとき受け取った回答は、何かを表現するときに問われる「不易流行」ということの肝要さであり、①美しさ②面白きこと③驚異から導かれる永遠性・普遍性に対する感性を常に研ぎ澄ませなさいということでした。今後の表現活動にとっても意義深い考え方を学ぶことができました。このような講座を開催してくださった本会担当委員、南信ブロック支部や地元支部の方々並びに事務局の皆様に深く感謝いたします。

平成29年度事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
7. 4	県総務情報委員会	長野県建築士会館
7. 5	東信ブロック会員ゴルフコンペ	望月東急ゴルフクラブ
7. 6	第3回東北信地区組織再編研究会	長野県建築士会館
7. 12	第3回青年女性委員会	佐久平交流センター
7. 14	空き家対策セミナー2017	こもろプラザ
7. 21	県防災委員会	長野県建築士会館
7. 24	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
7. 25	第1回三役委員長会議	かつ栄
7. 27	第2回総務企画委員会	野沢会館
7. 28	県三役会	長野県建築士会館
8. 2	第2回社会貢献委員会	野沢会館
8. 3	第1回実務講習会	佐久平交流センター
8. 3	第2回教育事業委員会	佐久平交流センター
8. 7	県CPD専攻建築士制度運営委員会	長野県建築士会館
8. 19	親睦ソフトボール大会	立科町権現山運動公園
8. 21	県木造塾運営委員会	長野県建築士会館
8. 24	第3回社会貢献委員会	佐久市民創錬センター
8. 25	県三役会	長野県建築士会館
8. 27	第1回氷地区風穴周辺の清掃作業	小諸市氷地区
9. 1	県三役会	長野県建築士会館
9. 2	全国風穴サミット	小諸市市民交流センター
9. 4	県まちづくり委員会	駒ヶ根市
9. 6	三団体親睦ゴルフコンペ	立科ゴルフクラブ
9. 8	県理事会	長野県建築士会館
9. 12	第3回総務企画委員会	佐久市民創錬センター
9. 13	第2回実務講習会	佐久平交流センター
9. 13	第3回教育事業委員会	佐久平交流センター
9. 14	県総務情報委員会	長野県建築士会館
9. 15	第2回情報広報委員会	佐久グランドホテル
9. 19	県青年女性委員会	長野県建築士会館
9. 21	第3回三役会及び第3回幹事会	佐久市民創錬センター

9. 25	公益法人への移行説明会（東信ブロック）	佐久平交流センター
9. 26	第4回社会貢献委員会	野沢会館
10. 2	県建築活動委員会	長野県建築士会館
10. 3	県フォーラム実行委員会	駒ヶ根市
10. 5	県まちづくり委員会	飯山市
10. 6	県三役会	長野県建築士会館
10. 11	応急危険度判定コーディネーター研修会	上田合同庁舎
10. 12	県景観整備機構	長野県建築士会館
10. 14	建築士フォーラム2017in 中央アルプス	駒ヶ根市
10. 18	第3回実務講習会	佐久市民創錬センター
10. 18	第4回教育事業委員会	佐久市民創錬センター
10. 18	県住宅ストック対策特別委員会	長野県建築士会館
10. 23	県ゴルフ大会	大浅間カントリークラブ
10. 24	第4回社会貢献委員会	佐久市民創錬センター
10. 31	佐久南インター景観をつくる会片付け作業	
11. 2	第4回青年女性委員会	佐久平交流センター
11. 11 12	子どもと作ろう！ウッドクラフト	イオンモール 佐久平店
11. 15	建築相談	佐久合同庁舎
11. 15	第4回実務講習会	佐久市内
11. 26	第3回情報広報委員会	御代田町 長泉寺
11. 27	県三役会	長野県建築士会館
11. 28	第4回空き家対策佐久地域連絡会	佐久合同庁舎
11. 29	第4回情報広報委員会	佐久グランドホテル
12. 1	県三役会及び理事会	松本市
12. 7 ～ 8	三団体合同研修旅行 (第60回建築士会全国大会京都大会)	京都府
12. 11	第4回総務企画委員会	佐久市民創錬センター
12. 14	第4回三役会及び第4回幹事会	佐久グランドホテル
12. 21	小諸市長へ最優秀賞受賞報告	小諸市役所
12. 25	東信ブロック予算執行等に関する打合せ会議	上田合同庁舎



親子で作ろう！！ウッドクラフト 2017

両川 正



晩秋の紅葉も終わりを告げ、朝夕の冷え込みが感じられる時節の、11月11日・土曜日、12日・日曜日と2日間にわたり、長野県建築士会佐久支部の主催で、第10回となる「親子で作ろう、ウッドクラフト」が、週末の家族連れでにぎわう佐久平イオンモールで開催されました。



社会貢献委員会の中では、数か月前からの事前の計画で、当初の目的である、建築士

会及び建築士を、一般の皆様にも周知してもらうための活動として、より最適な方法はないか？等、論議が巡りました。建築士会・建築士をアピールする色が濃くなると、参加者の減少が見込まれ、より一般の方が参加しやすいものにする、建築士会の色が薄れるという二面性の狭間、その融通の付け所を探す様な話し合いとなり、10回にもなる今までの方法を踏襲しながら、より良いものを今後共、探しとり入れて行く方向で

調整をつけながら進める事となりました。

当日の会場では、毎年、会員の大工職人・建築士会会員の皆様に、事前にご協力いただきキット化された、イス・花台・CDラック



の3種類が準備され、製作して持ち帰ろうという親子の参加で盛況でした。キット化された製作物には、事前準備の製作物のスタディ、そして会場のお手伝いに、上田情報ビジネス生徒さんもご参加いただき、建築士の我々も勉強と良い交流になりました。

また、佐久平周辺の山からの枝や木の実で作る「ホットボンドコーナー」も人気で、会場でも長時間にわたり真剣な表情で製作する母子が印象的でした。



この度、建築士会の色を濃くする為に、探りながらではありますが実験的に開催されました「体験、家造りワークショップ」(ダンボールによる模型での建物の強度競争)は、3組を競争させる様にし、参加者が集中して楽しんでいる様子が見ることができ、面白かったです。参加者の中には実践的に、建築士の仕事の一面とらえていただいたのかも知れません。

パネルで展示された「防災マップ」や、過去の文化賞の展示に、目を通していても見受けられませんでした。

今後とも、会員各位のご協力に感謝しながら、より良き方向に進められるのではないかと思います2日間でした。

実務講習会に参加して

佐藤 成暁

11月18日に佐久市内の空き家で、教育事業委員会と社会貢献委員会の合同で実務講習会が開催されました。講習会を空き家でと疑問に思いましたか？

宅地建物取引業法の施行規則の一部を改正する省令が公布され、平成30年4月1日より中古住宅の売買に際し、既存住宅状況調査を行う事が義務となります。4ヵ月余りで私たちは新しい職能を身に付けなければいけません。

今回の実務講習会では調査資格を取得した方の為に、中古住宅を実際に使った実践講習となりました。まだ資格をお持ちで無い方は是非とも講習を受けてください。講習考査がありますが私でも合格できましたので絶対に大丈夫です。

この日は午前と午後の2回開催され、会員外の方を含む35名の参加者が集まりました。県内でも初の中古住宅の現場実践講習会でしたので、他支部からも10名の参加者がいました。

講師は佐久支部の臼田支部長がして下さい、資料説明と品確法・住宅瑕疵担保復行法を再確認し理解を深めました。その後実践活動となり外部から調査しました。調査は目視が基本で・・・文字数制限の為割愛しますが、実践講習は為になったと思います。決して簡単な調査ではないという事です。調査報告書には83の調査項目があり、この報告書を参考にして中古物件が売買されます。私たちは購入者の為にしっかりとした職務遂行能力を身に付ける必要があると感じました。

1月には引き続き既存住宅状況調査の為のステップアップ講習会も予定されています。職能の強化の為に次回も是非参加したいと思います。



賛助会員の紹介

木下建工株式会社

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社の創業は、1949年に関東地方を襲ったキティ台風により、長野県南佐久地方が大きな被害を受けたことに始まります。長野県からの要請に応じ、飯田市の木下建設から出張し復旧工事にあたり、その後南佐久で独立しました。こうした成り立ちと、長野県という急峻な地形、四季の厳しい環境条件で歴史を重ね、土木、建築、設備の施工会社として直営施工力を磨きました。

近年、気候変動により局地的な豪雨の増加、強大な台風などの異常気象が自然災害をもたらしていることを災害対応の最前線で実感した弊社は、20世紀の終わりに「循環型社会の実現」をビジョンと定め、社会に先駆けて「作るだけではなく長持ちさせる技術」に取組み、事業構造を転換して構造物・建築物の長寿命化を手がけてきました。

弊社が大切にしているのは技術と技能の高さ。構造物・建築物の長寿命化は現地状況に応じた高い施工力が求められます。弊社では技術者だけでなく、技能スタッフ（職人）も育成しています。この内製化により調査・設計から施工まで社内で一貫して対応可能です。また、弊社はどのメーカー系列にも属さない独立企業で、多様な特許使用権を保持し、お客様にもっとも有効な工法や材料を提案できるよう心がけています。

日本でも、既存のインフラをいかに長く使い続けるかが社会の命題となりつつあります。橋梁の耐震補強や落橋防止、トンネルの補強工事、各種施設の耐震補強やリノベーションなど、構造物・建築物の長寿命化を図る弊社の需要は一步一步拡大しています。そのため、お引き合いやメディア等の露出も増えてきましたが、これにおごることなく今後も循環型社会の実現のため、多数の技術者と直営技能スタッフが研究開発、技術伝承、施工力の研鑽に取り組んでいきます。

最後となりましたが、貴会の皆様の益々のご繁栄ご健勝を心よりご祈念申し上げます。

賛助会員の紹介

TOTO 株式会社信越支社
佐久平営業所

長野県建築士会 佐久支部会員の皆様には、平素より格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社はお陰様で今年度創立100周年を迎えました。TOTOグループは広く社会や地球環境に貢献する企業であり続けることを目指しております。『健康で文化的な生活を提供したい』と言う創立者の信念は『TOTOグループ共有理念』として受け継がれ、

『良品と供給』と『お客様の満足』を第一に考え、『奉仕の精神』を貫き、社会の発展に寄与するように努めたい。一世紀にわたって受け継いできたこの志こそが企業の理念の根幹であり、ものづくりや販売活動の原点になっております。

またTOTOグループは、下水道の概念さえ一般的ではなかった時代の日本で、腰掛式水洗便器を製造し、その普及を通じて衛生的な生活文化を広めてきました。以来挑戦と革新を続けながら、温水洗浄便座やユニットバスルームなど、今では日本の多くのご家庭に普及している水廻り商品を生み出し、新たな生活文化を創造して参りました。

さらに現在は、高いデザイン性と機能性を融合した『美しい商品』を追及しています。商品のデザイン性を高めることは、生産上の課題を1つひとつ乗り越え、より難しい

ものづくりに挑戦することであり、美しさは、機能部の設計や生産技術に込めた熱意と創意工夫の結晶であると考えています。

日本国内はもちろんのこととして『世界中の水廻り』をより快適で清潔、安心、安全な空間にしていく為に、それぞれ環境や文化の異なる国や地域のお客様の日常生活に新しい豊かさをご提案する商品開発に取り組んでいます。

今後も日本だけではなく世界中のお客様に『やっぱりTOTOにして良かった』『またTOTOにしよう』と感じていただける商品やサービスを提供し続け、TOTOファンを増やしていきたいと考えています。次の100年に向け社員一人ひとりが企業価値を高めていくアクションを起こして参りますので、今後もより一層のご厚情賜ります様何卒よろしくお願い致します。最後に、長野県建築士会会員の皆様の益々のご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます。



長野県からのお知らせ

「平成29年度 被災建築物応急危険度判定士養成講習会」 (新規・更新共通) を開催します

長野県建設部建築住宅課

長野県では、大規模な地震が発生した場合、県からの要請により被災地に赴き、被災した建築物が余震等に対し引き続き安全に使用できるかを応急的に調査し、余震等による倒壊や部材の落下等による二次災害発生の危険度の判定を行う応急危険度判定士（以下「判定士」という。）の認定制度を平成7年度から実施しています。

平成26年には長野県神城断層地震が発生し、600棟余りの建築物について応急危険度判定を実施しております。

大規模地震が発生した場合には、短時間で多くの被災建築物を判定する必要があり、多くの判定士の方のご協力が必要となるため、県では毎年養成講習会を実施することとしています。

多くの方がこの機会に受講されますようご案内いたします。



1 主催等

主催 長野県（全国被災建築物応急危険度判定協議会会員）

共催 一般社団法人 長野県建築士会

2 佐久会場での開催日時は下記の通りです。

地域	開催日	時間	会場	定員
佐久	1月29日（月）	13:30~16:00	長野県佐久合同庁舎 講堂	80名

3 申込期間及び申し込み方法（各会場共通。以下同じ。）

- (1) 申込み期間： 各地域開催日の5日前までに申し込んでください。【受付時間8:30~17:15】
※各会場とも、定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
- (2) 申込み方法： 建設事務所（整備・）建築課又は長野県庁建築住宅課へ受講申込書（必要事項記載）を持参、郵送、FAXのいずれかの方法で提出してください。

◎既に判定士に認定されている皆様へ

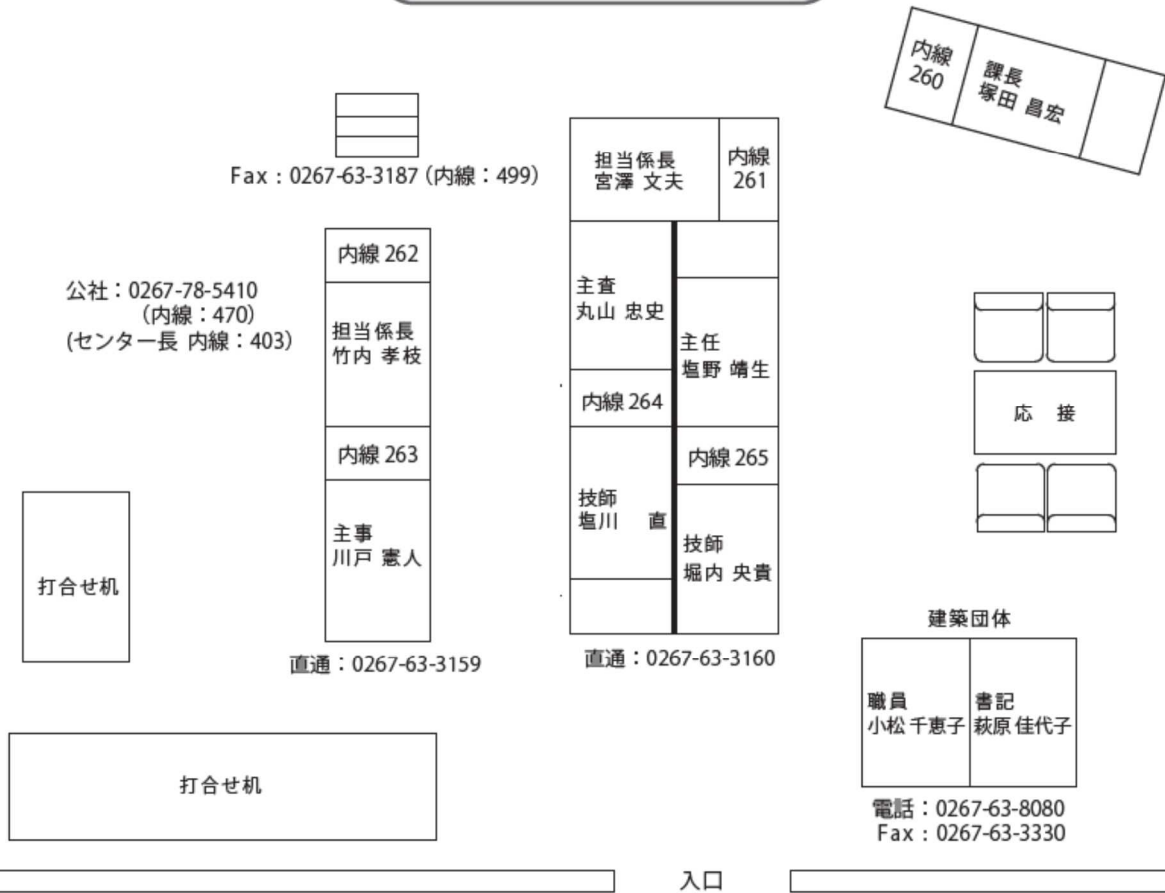
平成24年度に講習会を受講し認定された判定士の方は、今年度中に更新の申請が必要です。

また、更新にあたっては、講習会の受講が必要となりますので、ご注意ください。

都合により本年度の講習が受けられない方は、来年度に受講してください。その場合は、最寄りの建設事務所に更新申請書を提出いただきその旨を申し出てください。（当該地域の講習会開催日までに提出してください。）

申請書の様式は、『被災建築物応急危険度判定マニュアル』や県庁ホームページ（<http://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kurashi/sumai/shisaku/kikendo.html>）にも掲載してありますが、最寄りの建設事務所（整備・）建築課にも備え置いてありますので、お問い合わせ願います。

建築課配置図



*****●編集後記●*****

青年女性委員会がまたまた快挙。
 本人たちの不断の努力は勿論ですが、支部組織のバックアップも見逃せません。
 そこで心配なのは、本会の公益社団法人移行の進め方です。余りにも拙速過ぎて不安です。
 今後の長野県建築士会を揺るぎない組織にするためにも、焦らず会員の皆様の理解を得ることが必要ではないでしょうか。

会報『ちくま』第58号 2018/1

発行者：(一社)長野県建築士会 佐久支部
 情報広報委員会

事務局：〒385-8533 佐久市跡部 65-1

佐久建設事務所内

TEL 0267-63-8080

FAX 0267-63-3330

E-mail:ken8080@seagreen.ocn.ne.jp

支部 HP <http://www.aba-saku.com/>



は平成30年7月中旬予定です。